

FUJITSU

shaping tomorrow with you

# ストレージアセスメント事例

富士通株式会社

# 目次

- 流通業 A 社
- クラウドデータセンター

# ストレージ最適化アセスメント事例（流通業 A 社様）FUJITSU

他社環境を調査・分析し、お客様課題解決・コスト削減提案を実施

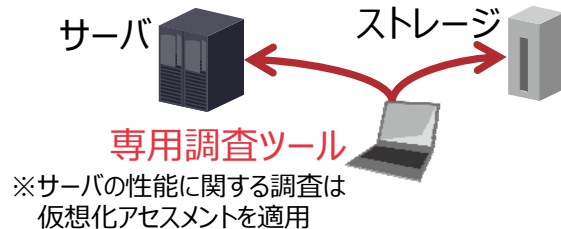
## お客様環境と課題

- お客様では、他社サーバ、ミッドレンジストレージ、VMwareを活用したインフラ統合基盤が稼働  
また、既存環境は度重なる増設を繰り返したため原因不明のトラブルが多発
- お客様としては、リプレースを契機に既存環境の可視化とトラブルの原因究明を希望

## ストレージ最適化アセスメント実施

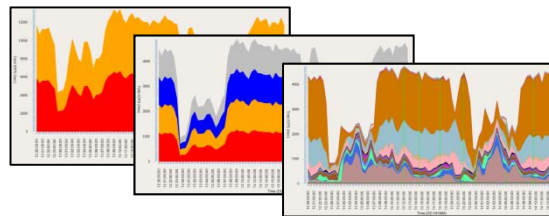
### ヒアリング、調査

- アセスメント専用調査ツールにより、ハードウェアの構成・性能情報を採取



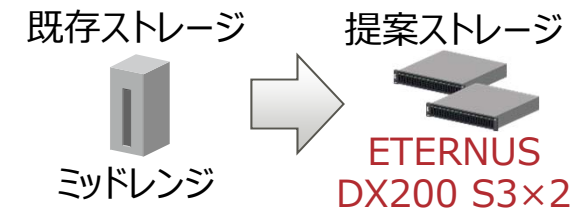
### 分析

- ストレージの「コントローラ」「ポート」「ボリューム」の性能負荷を分析



### 結果説明・提案

- 既存環境の性能状況を報告  
リプレース後の機器を提案



当社アセスメントで、度重なる増設により複雑化した既存環境の可視化に成功：

- 1) 特定業務のみが一時的に高負荷となり、システム性能上限ギリギリで稼働（性能トラブルの原因）
- 2) その他業務としては、過剰な性能・高価な装置が稼働（ムダな投資）

「既存ミッドレンジストレージ1台」を「ETERNUS DX200 S3（エントリーモデル）2台」へリプレース  
高負荷時でも安定したレスポンスを提供しコスト削減も可能なインフラ最適化提案を実施

# ストレージ最適化アセスメント事例 (クラウドデータセンター) FUJITSU

2000VMの大規模仮想環境の現状を可視化、解決策を提案

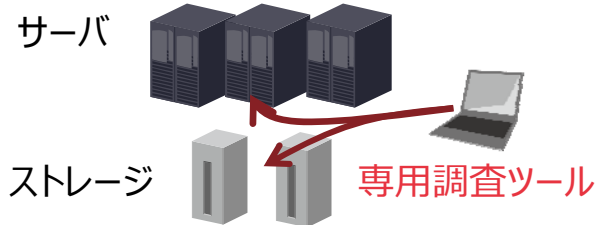
## お客様環境と課題

- お客様では、VMware、ミッドレンジストレージで構築されたクラウドサービス基盤が稼働  
日々増大するVMの運用負担を軽減することができる効果的なストレージ先進技術を模索
- お客様としては、リプレースを契機に既存環境の可視化と将来起こりえる問題の有無を診断希望

## ストレージ最適化アセスメント実施

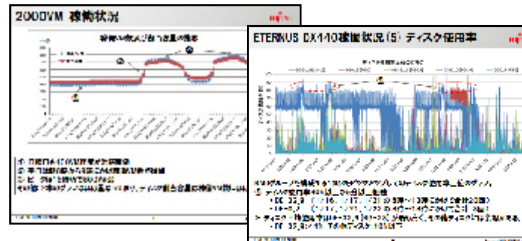
### ヒアリング、調査

- アセスメント専用調査ツールにより、ハードウェアの構成・性能情報を採取



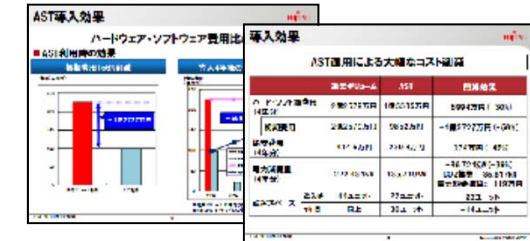
### 分析

- ハイパーバイザー、VM、ストレージの性能負荷を相関分析



### 結果説明・提案


- 既存環境の性能分析からストレージ先進技術の導入効果を提示



当社アセスメントで、増大するVM環境の稼働状況の可視化とストレージ先進技術の導入効果が明確化：

- 1) 特定のRAIDに負荷が集中していたため、業務遅延の可能性を検出 (性能トラブルの原因)
- 2) 高速ストレージ領域上に稼働していないVMが多数存在 (ムダな投資)

ストレージ自動階層制御により、4年間でハード・ソフト費:7000万円、保守・電力費:300万円削減  
同時に既存環境の隠れた性能課題も可視化



FUJITSU

shaping tomorrow with you